

西名阪道等の高速道路料金の見直しについて

平成24年11月

【提案要望先】 財務省、国土交通省

奈良県の提案要望

提案① 「無料ー有料（短区間）ー無料」の解消

■奈良県待望の高速道路ネットワーク整備が進捗

◇平成24年度 大和まほろばスマートICの名古屋側が供用
(大阪側も平成25年度供用予定)

◇平成25年度 京奈和自動車道と西名阪自動車道が接続予定
((仮称)大和郡山JCTの供用)

■しかしながら、短区間のみの有料区間が発生（わずか約3kmで400円）

◇無料区間に挟まれた短距離の有料区間が発生

・無料（名阪国道）ー有料（西名阪自動車道）ー無料（京奈和自動車道）

◇均一料金区間であるため、短距離利用車に対して過度な料金負担に。

◇そのため、過度な料金抵抗を嫌う車両が市街地に流入するなど、高速道路ネットワークの整備効果が十分に発揮されない懸念。



《提案内容》：短区間利用の際の過度な料金抵抗の是正

- ・西名阪自動車道における対距離料金の導入実現
- ・平成25年度の(仮称)大和郡山JCT・大和まほろばスマートICの供用までに、フリーフローアンテナ等、対距離料金導入に必要な施設の整備

提案② 広域的な有料道路ネットワークにおける料金格差の是正

■名古屋ー大阪間における料金格差の存在

◇名阪国道（無料）を含む名阪ルートは、名神・新名神ルートに比べ大幅に割安。

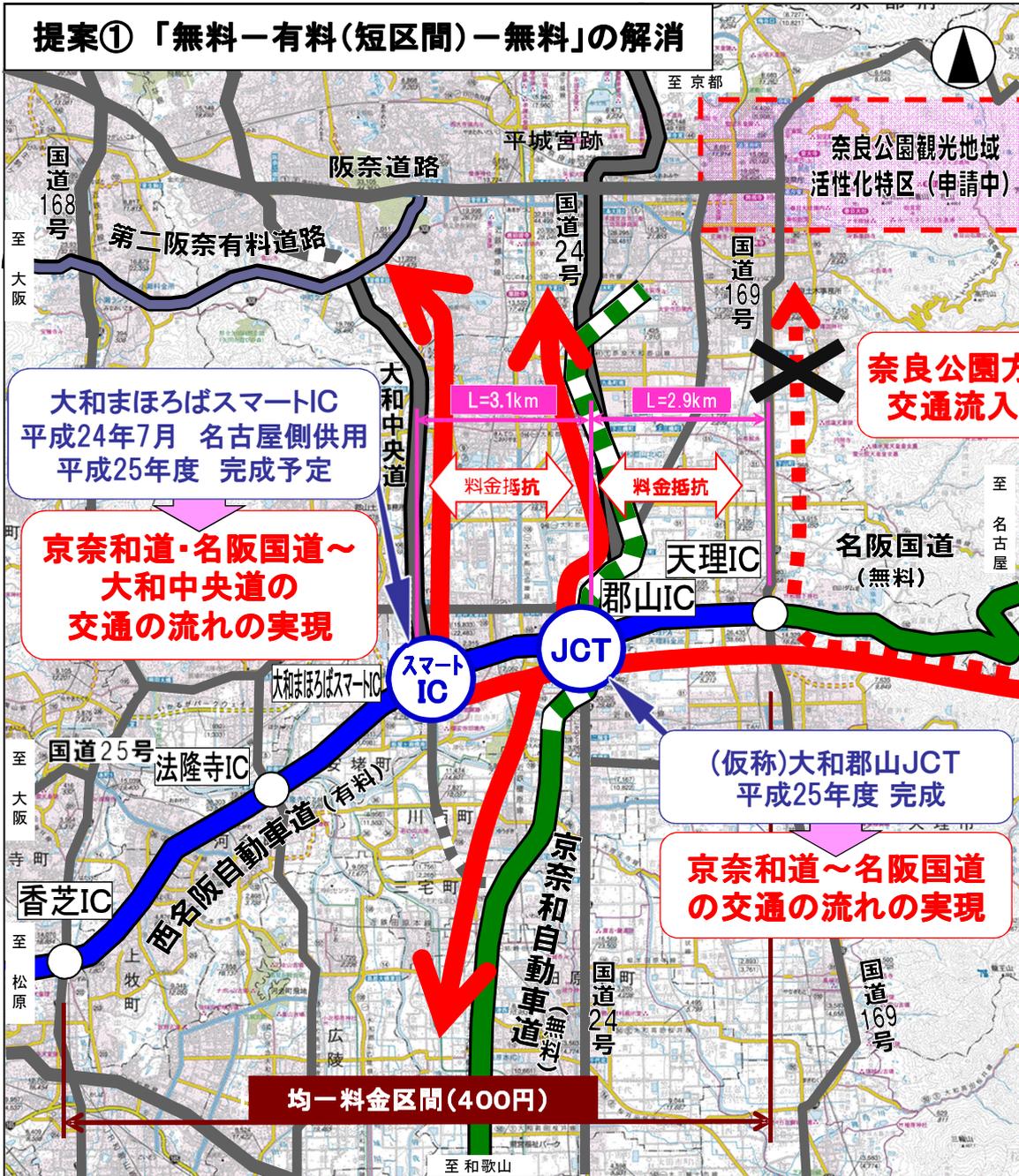
・その結果、奈良県内において大型車を始めとする多くの通過交通が存在
(大型車混入率43% H22センサス)



《提案内容》：広域的な料金格差の是正の検討

- ・新名神高速の全線供用を見据え、名古屋ー大阪間の料金格差の是正
- ・社会資本整備審議会の国土幹線道路部会において、広域的な料金格差の是正を議論していただきたい。

提案① 「無料—有料(短区間)—無料」の解消



提案② 料金格差の是正

